

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和17年度第3回)

日時 昭和17年5月6日(水) 自午後5時至午後6時30分
 場所 協會々議室
 出席者 會長松下長久 副會長三島德七 理事網谷俊平 池田正
 二 石原善雄 志村繁隆 藤村哲之 前會長河村 駿
 水谷叔彦 渡邊三郎 監事吉川晴十 常務委員石田四郎
 志村清次郎 主事金谷三松

協議事項

1. 本年度理事分擔事項中次の通り變更
 石原善雄 庶務を編輯に、志村繁隆 編輯を庶務に、
2. 5, 6月講演會の件
3. 秋期大會期日の件
4. 會誌廣告料金を次の如く決定し、之を會誌の見易き場所に明記すること。

廣告頁	表紙 / 2	前附	後附	表紙 / 3	表紙 / 4
廣告料(税共)	37圓	37圓	32圓	32圓	42圓

5. 入退會者及び會員異動の件 (4月1日~31日)

	名譽會員	維持會員		贊助會員	正會員	准會員	計
		(員數)	(口數)				
入會者數	—	+2	+1	—	+23	+107	+132
退會者數	—	—	—	—	-1	—	-1
死亡者數	—	—	—	—	-1	-1	-2
轉格者數	—	—	—	—	—	—	—
4月末日現在會員數	13	60	157	23	2,441	2,898	5,435
退會者氏名	正會員	山岡一男君					

正會員 久次米 三夫君 昭和17年4月2日
 准會員 勅使河原勝雄君 昭和17年4月 日
 逝去せられたり哀悼に堪へず、茲に謹みて弔意を表す

報告事項

編輯委員會 (昭和17年度第2回)
 日本耐火物協會と聯合「トリベ」用耐火煉瓦標準規格統一研究會 (第9次) (以上前號記載済に付き略す)

新入會者氏名 (4月1日~4月30日)

住 所	勤務先, 職業	會員別	氏 名	紹 介 者	
京橋區木挽町 8 の 19	横須賀海軍工廠造機部 太田特殊鑄工所 日本特殊鋼材會社戸田工場 日本鑄物工業組合	維	帝國滿俺株式會社	齋藤 三三・金谷 三松	
神奈川縣三浦郡浦賀町大津 1,173 山田氏方		正	細 野 玉 男君	石川 薫・中城 忠彦	
川口市領家町 3,958		"	太 田 辰 弘君	森 泉・金谷 三松	
王子區神谷町 1 の 532		"	行 田 潔君	石垣 旭・辨田 忠夫	
江戸川區小岩町 6 の 412		"	三 輪 一 雄君	瀧田 七郎・木田 孝之	
滿洲國興安北省ハイラル 滿洲第 158 部隊代永隊		"	清 水 博君	金谷 三松・村松橋太郎	
群馬縣高崎市下和田町 450		"	石産金屬工業會社	同 上	
品川區北品川 3 の 287		"	陸王内燃機會社	同 上	
世田谷區玉川田園調布 1 の 3,576		日本カーボン株式會社	"	吉 川 彰君	同 上
大阪市南區長堀橋筋 2 の 19		大阪共範製作所	"	北 村 朝 治君	不破小一郎・松岡 松平
蒲田區矢口町 791	理研スプリング株式會社	"	芝 山 芳 雄君	海野 幸保・小平 俊雄	
戸畑市小澤見町 日鐵社宅 51	八幡製鐵所内 鐵道省 工作局工場課	"	佐 野 佐 左君	金谷 三松・村松橋太郎	
福岡縣若松市堺町 5 丁目	日鐵八幡製鐵所	"	深 田 健 三君	淺野 峻三・久杖惣二郎	
室蘭市茶津町 日本製鋼所室蘭製作所	日本製鋼所室蘭製作所	"	前 川 清君	水谷 叔彦・金谷 三松	
世田谷區世田谷町 2 の 1,398	内外製鋼所砂町工場	"	窪 長 久君	吉川 晴十・井手 又藏	
京橋區佃島町 11	同 上	"	伊 藤 金 治君	金谷 三松・村松橋太郎	
千葉市椿森町 512	同 上船堀工場	"	河 西 一 雄君	吉川 晴十・井手 又藏	
杉並區荻窪 1 の 50	陸軍航空技術研究所	"	笠 原 文 雄君	塚本 重熊・小林 誠一	
城東區北砂町 7 の 166	株式會社宮製鋼所	"	土 田 竹 治 郎君	川崎 武雄・高田 友昭	
吳市廣町		"	廣海軍工廠鑄物實驗部	金谷 三松・村松橋太郎	
江戸川區東船堀町 710 内外製鋼所	内外製鋼所製鋼部	"	篠 原 吾 郎君	同 上	
江戸川區小岩町 3 の 1 の 455	同 上 船堀工場	"	菅 野 隆君	吉川 晴十・井手 又藏	
大阪市此花區島屋町 249 住友金屬工業會社製鋼所鍛造工場	住友金屬工業會社製鋼所	"	高 川 一 夫君	室井嘉治馬・阿部 信男	

住 所	勤務先, 職業	會員別	氏 名	紹 介 者
仙臺市靈屋下 15 の 1 山谷氏方	東洋機械會社	正	船 越 祐君	石原寅次郎・丹羽貴知藏
足立區千住曙町	吾孺製鋼所千住鐵板製	准	鈴 木 義 雄君	秋 田 敏 雄
川崎市渡田町 日本鋼管會社技術研究所	日本鋼管會社技術研究	〃	野 村 盛 文君	熊 谷 卯 之 助
杉並區天沼 3 の 849	同 上	〃	佐 藤 允 利君	藤 原 唯 義
吳市阿賀町鹽谷町 67	廣海軍工廠造機部鑄物	〃	田 川 稻 雄君	武 智 馨
葛飾區下千葉町 796	野村製鋼會社	〃	櫛 方 省 吾君	菅 澤 巖
神田區錦町 3 の 15 大成醫院內	合名會社大倉組囑託派	〃	櫛 引 達 二 郎君	持 田 德 彦
朝鮮咸北城津府 高周波社宅 336	遣先東大工綜合試驗所	〃	石 黒 正 二君	石 井 利 夫
横濱市鶴見區榮町通り 3 の 131	日本高周波重工業會社	〃	指 宿 哲 夫君	立 山 重 紀
富山市西公文明雄山町 12	城津工場	〃	岩 佐 豊 藏君	石 田 求
鞍山市南三番町 49 の 2	昭和不二越鋼材工業會社不	〃	羽 鳥 隆 榮君	金 谷 三 松
横濱市鶴見區生麥町 昭和不二越研究	所	〃	加 納 秀 雄君	立 山 重 紀
大阪市 大阪陸軍造兵廠研究所	昭和不二越鋼材工業會社	〃	加 納 川 涉君	谷 口 悟
横濱市鶴見區東寺尾町 1,292 松澤氏方	大阪陸軍造兵廠研究所	〃	高 松 行 雄君	江 口 喜 一
横濱市鶴見區生麥町 昭和不二越鋼材工業會社	日本鋼管會社鶴見製鐵	〃	長 倉 喜 一君	立 山 重 紀
神戸市葦合區脇濱町 1 の 31 神戸製鋼	所	〃	山 崎 實 治君	山 村 英 夫
朝鮮咸北城津府 日本高周波重工業會社城津	神戸製鋼所神戸工場	〃	佐 藤 二 郎君	松 尾 敏
王子區赤羽町 4 の 3,126 興亞社	日本高周波重工業會社	〃	木 村 丈 太 郎君	本 多 顯 耀
新京特別市利國街 502 滿洲鑛山研究所	城津工場	〃	三 木 宗 之 助君	小 林 子 之 輔
市川市平田 217	三菱鑛業會社研究所	〃	水 上 正 一君	川 井 清 泰
横濱市中區日の出町 1 の 59	滿洲特殊鐵鑛會社	〃	重 成 章君	立 山 重 紀
大森區新井宿 5 の 527	野村製鋼會社	〃	城 長 江君	中 野 昌 夫
横濱市神奈川區高島臺町 34	昭和不二越鋼材工業會社	〃	比 江 島 種 光君	立 山 重 紀
神奈川縣藤澤市辻堂 1,599	三菱鋼材會社深川工場	〃	鈴 木 勳君	河 井 新 三
山口縣熊毛郡光町 海軍集會所	光海軍工廠	〃	犬 塚 家 親君	有 村 康 男
神戸市脇濱 1 丁目 神戸製鋼所海岸工場	神戸製鋼所	〃	花 田 久 彌君	菖 蒲 正 俊
名古屋市東區西二葉町 名古屋帝大工學	名古屋帝大金屬工學教	〃	樋 田 章君	武 田 修 三
蒲田區糞谷町 2,610 森永氏方	室	〃	大 多 重 信君	石 原 正 美
葛飾區下千葉町 262	特殊製鋼會社	〃	大 田 武 生君	行 方 畝 三 郎
群馬縣多野郡鬼石・日本ニツケル多野鑛	東京製鐵會社	〃	渡 部 安君	川 瀬 浩
山社員社宅	日本ニツケル會社多野	〃	川 島 晉君	高 尾 勤
川口市大字芝 2,629	鑛山	〃	武 邑 有 勝君	澤 村 宏
京都市左京區吉田本町 5 本庄氏方	日本ピストンリング會	〃	鍋 谷 滋君	井 上 愛 仁
大連市葛町 111 滿鐵對山塾 34 號室	社	〃	山 口 榮 一君	小 田 助 男
尼崎市東向島西之町 28 住友金屬工業	京大在學中	〃	松 村 新 高君	里 村 伸 二
會社鋼管製造所	滿鐵鐵道技術研究所	〃	松 永 達 夫君	有 村 康 男
杉並區天沼 1 の 243	住友金屬工業會社鋼管	〃	松 田 武 男君	稻 田 和 夫
山口縣熊毛郡光町 海軍集會所	製造所	〃	北 川 則 敏君	森 崎 晟 郎
大阪市三島郡味吉村下 58	鐵鋼統制會	〃	林 久 一君	小 城 五 郎
大阪市東成區舍利寺町 78	光海軍工廠製鋼部	〃	富 屋 康 昭君	武 林 誠 一
川崎市觀音町 1 の 149	大阪特殊製鋼會社吹田	〃	小 原 光 雄君	小 山 武 夫
吳市磐固屋町 5 の 76	工場	〃	河 野 勝 三君	小 林 佐 三 郎
目黒區三田 海軍技術研究所材料研究部	中山製鋼所	〃		
室蘭市茶津町 12 同袍寮	日本製鐵會社富士製鋼	〃		
	所	〃		
	吳海軍工廠製鋼部	〃		
	海軍技術研究所	〃		
	日本製鋼所室蘭製作所	〃		

住 所	勤務先、職業	會員別	氏 名	紹 介 者
大森區新井宿 1 の 2,361	日本特殊鋼管會社研究所	准	吉 田 康君	大 元 博
神戸市灘區灘北通 4 の 30	川崎重工業會社製鐵工場	〃	玉 木 安 藏君	高 岡 弘
京橋區岸島 2 の 8	特殊製鋼會社	〃	田 代 保 夫君	見 邊 究
室蘭市御前水町 社宅 1,020 號	日本製鋼所室蘭製作所	〃	村 松 正 巳君	小 林 佐 三 郎
尼崎市西長洲宇西 16	金井金屬材料研究所	〃	小 泉 澄君	金 井 慶 二
吳市内神町 285	吳海軍工廠製鋼部	〃	赤 澤 信 六君	武 林 誠 一
室蘭市母戀南町 13	日本製鋼所室蘭製作所	〃	相 澤 喜 一君	小 林 佐 三 郎
神戸市神戸區下山手通 4 の 127 の 13	川崎重工業會社製鐵工場	〃	峯 利 莊君	植 山 義 久
滿洲國東安省安東軍事郵便所滿洲第 874 部隊 石川隊	三菱製煉所選別工場	〃	宮 崎 潔君	若 松 志 廣
新京特別市南嶺 新京工業大學寮	學 生	〃	柴 田 英 雄君	堀 田 深 志
鞍山市初音區初音街五段八號 203	昭和製鋼所研究所	〃	東 慶 介君	垣 内 富 士 雄
蒲田區羽田御臺場 2,280 日本特殊鋼會社羽田工場	日本特殊鋼會社羽田工場	〃	鈴 木 正 雄君	渡 邊 三 郎
新京特別市南嶺 新京工業大學冶金學科	學 生	〃	鈴 木 信 二君	堀 内 深 志
堺市錦之町 31	大阪金屬工業會社調質工場	〃	住 野 久 四 郎君	金 谷 三 松
名古屋市南區道德新町 2 丁目 大同製鋼富士寮	大同製鋼株式會社	〃	相 崎 耕 一君	野 田 浩
藤澤市鶴沼 2,373	學 生	〃	秋 山 長 生君	鹽 澤 正 一
川崎市渡田町 2 丁目 971	同 上	〃	淺 井 正 臣君	同 上
淀橋區上落合町 1 の 271	同 上	〃	伊 藤 總 一君	同 上
世田谷區上北澤町 2 の 528 田代氏方	同 上	〃	長 谷 場 泰 造君	同 上
牛込區甲良町 24	同 上	〃	太 田 三 郎君	同 上
本所區菊川町 3 の 11	同 上	〃	片 爪 孝 犬君	同 上
芝區三田西國町 2 の 4	同 上	〃	加 嶋 武 四 郎君	同 上
世田谷區世田谷町 1 の 886	同 上	〃	神 居 詮 正君	同 上
牛込區早稻田町 6 關口氏方	同 上	〃	景 山 清 一君	同 上
船橋區宮本町 5 の 1,774	同 上	〃	吉 岡 元君	同 上
小石川區富坂町 2 の 18 日獨學館寄宿舎	同 上	〃	田 島 敏 郎君	同 上
淀橋區戸塚町 1 の 550 友愛學舎	同 上	〃	中 川 國 夫君	同 上
中野區沼袋町 561	同 上	〃	中 谷 隆君	同 上
麴町區平河町 2 の 25	同 上	〃	中 村 吉 之君	同 上
牛込區喜久井町 29 大松閣内	同 上	〃	栗 木 俊 二君	同 上
目黒區平町 61	同 上	〃	松 田 重 郎君	同 上
牛込區若松町 133 松島館内	同 上	〃	近 藤 淳 三君	同 上
豊島區高田本町 2 丁目 61 近江氏方	同 上	〃	郡 勇 君	同 上
牛込區早稻田鶴巻町 336	同 上	〃	江 島 毅君	同 上
中野區上高田 2 丁目 392	同 上	〃	櫻 井 辰 夫君	同 上
淀橋區諏訪町 209 菊水館内	同 上	〃	鮫 島 定 信君	同 上
世田谷區玉川町 1,471	同 上	〃	木 下 彌 八 郎君	同 上
牛込區喜久井町 62 小松館内	同 上	〃	清 水 植 美君	同 上
淀橋區戸塚町 2 の 76 鎌倉館内	同 上	〃	鹽 原 健 次 郎君	同 上
澁谷區千駄谷町 4 の 639	同 上	〃	鈴 木 清 長君	同 上
下谷區上野櫻木町 2	同 上	〃	安 達 春 雄君	同 上
小石川區雜司谷 1 の 14 二宮氏方	同 上	〃	安 藤 幸 吉君	同 上

住 所	勤務先、職業	會員別	氏 名	紹 介 者
神田區猿樂町 2 の 15	野村製鋼會社本八幡工場	准	稻 垣 秀 二君	川 井 清 泰
市川市八幡大芝原 1,347 柳氏方	同 上 検査課	"	吉 田 義 男君	同 上
杉並區高圓寺 6 の 702 掛川方	學 生	"	播 摩 英 雄君	吉 川 晴 十
目黒區柿木坂 669	同 上	"	大 野 澄 男君	同 上
山口縣熊毛郡光町 光海軍集會所	光海軍工廠製鋼部	"	森 住 一 郎君	金 谷 三 松
仙臺市長町 東北金屬工業會社長町工場	東北金屬工業會社	"	高 砂 子 二 郎君	大 關 忠
名古屋市南區道德新町 2 の 77 大同製鋼富士寮	大同製鋼會社	"	宮 本 正 男君	錦 織 清 治
千葉市登戸町 大洋莊内	學 生	"	古 屋 久君	石 川 福 三 郎
仙臺市北三番丁 69	金屬材料研究所	"	熊 田 健 三 郎君	村 上 武 次 郎
仙臺市荒町 24	同 上	"	庄 子 浩君	同 上
仙臺市長町大窪谷地 43 白田氏方	學 生	"	福 田 泰 次君	的 場 幸 雄
鞍山市柳町 20	滿洲久保田鑄鐵管會社	"	岩 永 舍君	齋 藤 日 露 英
盛岡市仁王三戸町 201 宮田氏方	學 生	"	中 谷 幸 吉君	大 内 峻
朝鮮咸鏡南道利原郡遮湖邑昌興里利原鐵山會社遮湖支店	利原鐵山會社	"	佐 分 利 安 雄君	松 浦 二 郎
盛岡市榮園高砂町 13 の 52 杉本氏方	學 生	"	諸 住 正 太 郎君	大 内 峻
尼崎市北難波町 422	尼崎製鋼所	"	關 谷 文 夫君	山 田 貞 雄
八幡市大藏景勝町下の組	小倉陸軍造兵廠	"	山 本 正 夫君	金 谷 三 松
淀橋區戸塚町 1 の 532	關東特殊製鋼會社技術部研究係	"	關 原 正 夫君	足 立 彰
山口縣熊毛郡光村 光海軍集會所	光海軍工廠砲彈部	"	藤 田 利 根 夫君	有 村 康 男
朝鮮咸鏡北城津府双浦町 日本高周波社宅 129 號	日本高周波重工業會社城津工場	"	富 塚 光 雄君	中 島 正 八
宮崎縣東舊杵郡富島町日知屋 3,300 伏見電氣製鐵所	伏見電氣製鐵所電氣爐係	"	尾 方 多 加 止君	佐 伯 一 郎
兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾中津 25 住友遜志寮	住友金屬工業會社鋼管製造所	"	木 田 勇 夫君	小 島 健 二
西宮市中濱町 27	同 上	"	津 村 弘君	同 上
郡馬縣新田郡太田町 1 の 65	新東京工業大學冶金學教室	"	鈴 木 武君	堀 内 深 志

各種鋼管材のクリープ・リミットに就て (V)

管材のクリープ抵抗に及ぼす二三の添加元素の影響並に 18/8 不銹鋼のクリープ (抄録)

(小島義正: 住友金屬研報 4 (昭 17) 701) 炭素鋼或は低合金鋼のクリープ速度に及ぼす C, Si, Mo 及び Cr の影響を明かにし更に第 3 報に引続き 18/8 不銹鋼の歪硬化による再結晶温度の下限附近のクリープの性状を明かにせられた。

炭素鋼並に低合金鋼に就ては Mo の添加はクリープ抵抗増加に效大である。

種々その測定方法を變へて荷重とクリープ速度の關係を測定せる結果を考察するに 500°C は歪硬化による再結晶開始温度の下限附近に相當するためこの温度に於けるクリープ速度は負荷時の瞬間伸即ち歪硬化によつて影響せられ負荷による歪硬化大なる場合はその後のクリープ速度が小となる傾向を示す。而してこの現象は 18/8 鋼に於て 17 kg/mm² 附近に於て顯著に現はれる。即ちこの點に於ては負荷による瞬間伸が著しく大となり降伏點とも稱し得べき點である。尙又 14 kg/mm² 附近に於てもこの現象が現はれる。かゝると點の中間に於ける荷重に於ては歪硬化と熱影響が相殺する可能性が考

へられかゝる際にはクリープは永續性を有し而も測定結果によると前記の如くクリープ速度も可成大きく従つてクリープによる危険性も生ずる。と述べてある。

山西無煙炭(陽泉炭)の特質とその利用法 (抄録)

(山西炭礦々業所礦務部, 日滿支石炭時報, 189 號, 昭和 16 年 12 月, 頁 1221~1227, 表 8) 山西炭の埋藏量は支那全土の 53% を占め, 無煙炭, 半無煙炭, 瀝青炭, 褐炭等に分類され, 無煙炭は平孟潞澤炭田のみに産し, 此の代表的なものが陽泉炭礦である。陽泉炭は優秀な非粘結性無煙炭で, 固定炭素多く, 發熱量高く, 灰分が少い。水分 1.6, 灰分 4.9, 揮發分 8.5, 固定炭素 84.8, 硫黃 1.1% で, 發熱量 8,000 cal である。此の燃焼成績の 1 例に依れば, 投炭後 40mn で 90% 着火, 2h 以内に 806 匁/匁の蒸發水を生じ, 火持時間 4h, 完全燃焼炭 205 匁, 不完全燃焼炭 98 匁, 灰 35 匁, 硬度 12 匁, 灰の色は白色で臭氣あり, 鴻基炭に比し同等以上である。著者はガソリン代用燃料, 煉炭, コークス原料, 加熱爐, 其の他に於ける陽泉炭の使用成績を述べ, 將來鴻基炭に代り使用範圍が益々擴大すると論じてある。(製鐵技總 2 (昭 17) No. 4, 352)